



博多まちづくり推進協議会

はかたんだより

No. 02

HAKATANDAYORI
2010

ELJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES

博多まちづくりガイドラインを策定しました！

博多が将来にわたって活力と風格を持ち続け、住んでよし、働いてよし、訪れてよしという魅力あるまちであり続けるために… 今後の博多のまちづくりの指針となる「博多まちづくりガイドライン」が、昨年 12 月 15 日開催の臨時総会で審議され、承認・策定に至りました。



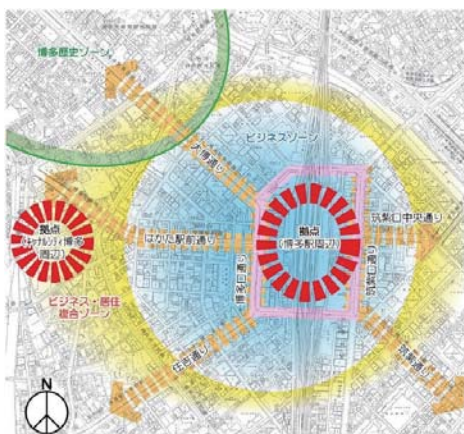
「博多まちづくりガイドライン」とは？

2011 年 3 月の九州新幹線の全線開業や新博多駅ビルの開業等を契機として博多のまちが大きく変わろうとしています。博多まちづくりガイドラインは、この時期をチャンスと捉えて魅力的で快適なまちづくりを進めるために、博多のまちの目指すべき方向性とその実現に向けたまちづくりのルールや活動の道筋をわかりやすくまとめたもので、今後、皆様とともに博多のまちづくりを進めていく上での指針となるものです。また、副題で掲げた「駅からまちへ、まちから駅へ、歩いて楽しいまちをめざして」を大きなコンセプトとして、まちづくりの方針や方策等をまとめています。

駅の力を活かしたまちの将来像

博多駅周辺とキャナルシティ博多周辺を核として、多くの人々が集い、にぎわい、さらにまち全体へ繰り出していく… そんなイメージのもと、拠点、環と主軸、主要なゾーンについて、駅の力を活かした将来像を掲げています。

博多駅周辺は福岡を代表する風格のある景観を持つ交通結節・にぎわい拠点に、キャナルシティ博多周辺は魅力ある多様な施設の集積や天神地区と博多駅地区の中間に位置する地の利を活かした集客・にぎわい拠点に、主軸は通りの個性にあわせた独自の魅力・にぎわい・景観を持ち快適に楽しく回遊できる通りとなる将来像です。また、ビジネスゾーンは働くことが一層楽しく土日楽しめるまちに、ビジネス・居住複合ゾーンは夜でも生活感があり住みたくなる環境のまちに、博多歴史ゾーンは多くの観光客が歴史のまち巡りを楽しむまちになる将来像です。



図：拠点、環と主軸、主要なゾーン

皆様とともに活発な議論や試行錯誤、色んな方々のご意見を頂きながら策定

ガイドラインは、協議会発足以来、約 1 年 8 ヶ月の歳月をかけて、約 70 名にものぼるプランニング部会会員の皆様とともに検討してまいりました。

プランニング部会では、まず、ガイドラインの検討に必要な知識や情報をみんなで共有するために、まちづくりに造詣が深い講師をお招きした講演会や福岡市職員による出前講座を数多く開催しました。また、ワークショップを通じて、博多のまちの課題やまちの将来像等について議論しました。

ガイドラインの素案づくりにおいては、夢を描きつつもガイドラインを空想論にしたくないという思いのもと、部会やワーキングでの度重なる議論や実現可能性の検討・調整等をしっかりと行いました。特に、殺伐とした公園や道路の植樹のあり方については熱心な議論がなされました。はかたんだより創刊号でもお知らせしました昨年 9 月の素案公表後、博多のまちに訪れる方々の意見も伺い反映したい主旨から市民意見を募集したところ、多くのご意見を頂戴し、それらや素案全体を通して会員の皆様から頂いた意見等を踏まえながらガイドラインに磨きをかけ、この度、策定に至ったところです。



水戸岡鋭治先生によるまちの将来イメージを掲載！

ガイドラインに基づいて様々な取り組みを行うことで、どのようなまちなみになるのか？九州新幹線つばめの車両デザインをはじめ、工業デザイナーとして活躍中の水戸岡鋭治先生に、博多のまちの将来イメージを描いて頂きました。老若男女を問わず多くの人々がそれぞれの思いで楽しんでいることや歩行者と自転車の空間が分離されて安全な通りになっていること、さらに和のテイストを加えて、博多のまちにぴったりなイラストです。



各部会からのお知らせ

こんな活動しています。

マネジメント部会

MANAGEMENT

金沢市・富山市視察報告

まちづくりの先進事例を学ぶことで今後の活動に活かそうと、1月21日、22日にマネジメント部会の皆様で、金沢市と富山市を訪問しました。両市とも、2014年に予定されている北陸新幹線開業を一つの契機とし、まちづくりに取り組んでいる点で、博多と類似の状況にあるといえます。

◎金沢市【金沢市役所】

金沢市は加賀百万石の伝統がそのまま市民生活のレベルまで息づく、文化力に秀でた都市です。戦禍に遭うことがなかったため、まちなみも伝統的な風情を色濃く残しています。ここでは特に、JR金沢駅の駅前広場の管理や、都心に隣接した武家屋敷地区における自動車交通規制の取り組みに関し、興味深いお話を伺いました。



■駅前広場管理（地下）

（財）金沢まちづくり財団に運営を委託していますが、利用料は非常に低廉で、1日1万円、機材備品等は無料というものです。さすがに冬場はパネル展等がメインですが、暖かい季節はとても賑わうそうです。



■武家屋敷地区交通規制

実施まで紆余曲折はあったものの、地区一帯の交通を規制し、歩行者の安全とまちの雰囲気を守る取り組みです。自転車交通量は規制前の半分以下になり、静かな環境を取り戻したそうです。

◎富山市【(株)まちづくりとやま・富山市役所】

富山市は、北は水深1000メートルに及ぶ富山湾、南は3000メートル級の立山連峰に抱かれた大変に自然豊かな都市です。自動車保有率及び戸建比率が高く、市街地が薄く広がりつつあります。ここでは、コンパクトシティ実現のため、まちなか居住支援、公共交通利用促進、自転車利用促進に対する、非常に熱意のある取り組みが特徴的でした。

■まちなか居住支援

まちなかに活気を呼び戻したり公共交通を軸とした効率的でコンパクトなまちづくりを進める一環で、まちなかや公共交通沿線に住宅を取得・賃貸する場合等に財政支援を行っているそうです。

■公共交通利用促進

公共交通網の維持のため、通勤手段に公共交通を多く利用してもらうために、沿線企業に対し財政支援する取り組みが聞かれました。LRTの役割が非常に高く、廃線となった鉄道路線（旧JR富山港線）を蘇らせるにとどまらず、沿線地域の活性化が実現していたり、LRTによる都心部環状線を新たに整備することで公共交通の利便性を高めるなど、その活動は素晴らしいものです。



■自転車利用促進

放置自転車を再利用した無料のレンタサイクルが実施されています。またこの春、パリで取り組まれている、多ステーション・短時間利用型レンタサイクル事業「ヴェリブ」の日本版が初めて稼働します。まずは15のステーションでスタートするそうです。どのような実績になるのか、大変に楽しみです。

アクション部会

ACTION

アクション部会の体制強化

協議会も設立2年目の上半期を過ぎ、その活動内容が変化してきました。ガイドラインに沿って取り組む様々な活動を部会に当てはめようとすると、その多くがアクション部会になります。そこで、将来の組織のあるべき姿は今後検討していくとして、まずはアクション部会の下に3つのチームを作り、役割分担をより明確にして体制を強化することとなりました。以下の3つのチームが最近の活動内容です。

◎にぎわいチーム

2011年3月、いよいよ九州新幹線が全線開通します。協議会として取り組むべき記念事業は？その企画立案を行っていきます。そのため、まず、昨年末に全会員の皆様にアンケートを実施させて頂きました。多数の回答を頂き、その中からさらに絞込みをしていき、精度を高めていきます。



冬のファンタジー・はかた'10 チラシ。



◆ディナー王ワークショップの様子。

冬期イルミネーション「冬のファンタジー・はかた'10」を12月5日から1月18日まで実施しました。これまで、はかた駅前通り、大博通り、住吉通り、筑紫口で別々に行っていたものを事業統一することが出来ました。今年度は初めてフォトコンテストを実施し多数のご応募を頂きました。また、昨年実施したランチ王（キング）に引き続き、今年はディナー王（キング）を企画しています。現在、進行中で3月末の発刊に向け活動しています。ご期待ください。

◎回遊チーム

通り名付けを継続検討中。現在は、行政と公称化に向けたルール策定の調整中で、2011年春にはプレート設置を目標に頑張っています。本年度、はかたんウォークで作成して大好評を博した「博多まち歩きマップ」は続編を検討中です。また博多エリアだけでなく、天神と一体となったまち歩きマップも引き続き「We love 天神協議会」との連携を検討しています。



◆昨年の社会実験で製作した通り名プレート。

◎安心安全・環境チーム



にぎわいや回遊の検討の一方で、まちづくりの重要な課題が安心安全な環境整備です。もちろん、協議会が独自でインフラ整備を行うということではなく、中長期の視点を持ち、行政と共にまちの課題に取り組みます。クリーンディや放置自転車対策など独自でも取り組めることは、今までと同様に行っていきます。また、昨年12月にはキャナルシティ博多の「総合防災訓練」を約20名の会員が見学し、協議会としての防災への取り組みも進めています。その他には、公園や街灯への取り組みの重要さも検討会議で指摘されています。

大阪・淀屋橋地区の事例紹介!

ビジネス街から大人の集う街へと進化

(財)福岡アジア都市研究所: 兼子 慎一郎

博 多駅地区は、ビジネス街であり、土日は人通りが少なく閑散としています。今回、ご紹介するのは、大阪のビジネス街である淀屋橋地区です。かつては、終業と同時に人はいなくなっていました。しかし、一人の街づくりプロデューサーにより、賑わいのある街へと変貌し、年々進化しています。

大阪・淀屋橋地区とは

江戸時代に、日本一の豪商の淀屋が架けた淀屋橋。かつてのこの辺りは、天下の台所と呼ばれ、日本中の諸藩の米蔵が集積していました。また、明治以降、大阪を代表するオフィス街として発展。歴史的建造物(1933年竣工: ガスビル等)も残っており、老舗の小売店も点在しています。しかし、大阪の経済が冷え込むと、大阪に本社を置く企業の多くは東京に移りました。多くの本社が移転し空洞化した街、それが一昔前の淀屋橋地区でした。

一室を埋める事から始まった

仕事が終わるとすぐに帰る、そんな魅力のない街。しかしある一人の街づくりプロデューサーにより、街は生まれ変わりました。その人物こそ、梅田の「イーマ」や東京の「トキア」をはじめ全国の商業施設をプロデュースした(株)ケイオス代表の澤田充さんです。澤田さんが街づくりを始めたきっかけは、あるビルオーナーから1階の空室100㎡に店舗を入れたいと話を持ちかけられた事でした。オフィスビルの空室を1室埋めるだけでも難しい。それならば街のブランディング(ブランドの構築)をした方が空室は埋まるという発想で、淀屋橋の街づくりを始めました。そして、行きつけのスペイン料理店オーナーに自らの街づくり構想を語り、空室に姉妹店の出店を持ちかけました。



2008年5月/オフィスと商業の複合施設「淀屋橋 odona (オドナ)」OPEN。

街のポジショニング

淀屋橋には、キタ(梅田)にもミナミ(心斎橋)にもない歴史的建造物が残っています。また、経済の中心として発展してきました。これらの経緯や街を観察していくと、街の特性はコンサバティブ(保守的)であると分析したことから、若者ではなく大人が楽しめる街をつくっています。そして、そのプロジェクトを「淀屋橋 WEST」と名付けました。

淀屋橋 WEST がスタート

2003年5月に、僅か3店舗の飲食店からスタート。その最初の3店舗のオープン日は、これからの淀屋橋を作っていくという想いを込めて、「入村の儀」と名付けました。8年目を迎えた今では、飲食店のみならず、ここでしか買えないブランドの物販店、バロック音楽の楽団、ホテルなど47店舗まで拡大しています。

最初は赤提灯と定食屋しかなかったという街が、今では、女性が一人でも立ち寄れるようにカウンターを備えたスペイン料理のバルや、イタリアのカフェリエレ(騎士)勲章を受章したオーナーが腕をふるうイタリア料理店など、年々魅力ある街へと進化しています。



澤田さんの熱意で出店された淀屋橋 WEST 1号店の一つ。スペイン料理店 EL PONIENTE CARBÓN。

建物のコンバージョン(改造)

店舗入口にも工夫を凝らし、これからお店を利用するお客さまとオフィスビルから帰る人の動線が重ならないように、外壁を撤去するなどして全店舗で新たに入口を設けています。また、夜は淀屋橋 WEST 各店舗からの光が通りに漏れ、暗い通りを明るく照らしています。それは、街の当事者である事の証でもあります。



博多駅周辺には、一人でも楽しめるお店がない、女性同士でも気軽に寄れるお店がないといった声をよく聞きます。博多駅周辺にも淀屋橋地区のように、ビルの低層階にはお洒落なお店が入り、大人が楽しめる街へと変わっていく事を期待します。

会員さん紹介

Member introduction

建設は未来に送るメッセージ

株式会社 大林組 ODAYASHI



大林組は、1892年の創業以来、東京中央停車場(現在の東京駅)、大阪城の復元工事、青函トンネル、関西国際空港、東京湾アクアラインなど時代のシンボルとなる建造物を築いてきました。そして今、世界一のタワー「東京スカイツリー」の建設に挑んでいます。これからも「創造力と感性を磨き、技術力と知恵を駆使して、空間に新たな価値を造り出す」という企業理念を実践し、高付加価値・高機能の建設サービスを社会に提供していきます。

株式会社 大林組九州支店 / 〒812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12 TEL092-271-3813

まちづくりへのメッセージ



下川端のゲイリー・オールドマンこと、担当の伊藤さん。

弊社は建設分野に留まらず、都市開発の分野でも様々なお手伝いをさせて頂いております。博多の顔となっている建物の施工を行うなど所縁ある地区であることから、将来の博多駅周辺のあり方を示す「ガイドライ」の作成に参加させて頂きましたが、これからは「まちを面白くする!」ことをモットーに、ハードからソフトまで、幅広く皆さんと一緒に博多駅周辺のまちづくりに関わっていただくと考えております。

次号会員募集!!

このコーナーでは、数多くの会員さんを紹介していきたいと思っています。掲載をご希望の会員さんは、是非、事務局(JR九州:092-474-7243)までご連絡ください。自薦他薦問いませんので、どしどし応募してください。

Hakatan OL Club Selection Vol.02

毎号「はかたんOLクラブ」が美味しいお店をご紹介します!!
博多で働く女性たちが教えるグルメコーナー。飲み会、女子会、デートにオススメです。



福岡市博多区住吉 2-4-7 マ
イアトリア住吉 1F
■092-291-6147 ■11:00~
23:30 (OS 23:00)
■定休日/月曜日

フレンチ食堂 Bistro「アン・ココット」

cocotte (ココット) とはフランス製の鋳物ホーロー鍋のことで、店名の en cocotte (アン・ココット) とはその鍋を使った料理の事。福岡市出身のシェフが提供するココット料理は素材の旨味が鍋に凝縮されワインにもびったり! みんなで取り分けながら頂けば会話が弾むこと間違いなしです。

人気デザート「焼ききたて! STAUB ココットスフレ」
は別腹、要予約なのでお忘れなく!



「日欧鍋対決!! フランス家庭料理 VS 博多の伝統の味」



福岡市博多区対馬小路 1-6
■092-281-2200 ■12:00~
22:00 ■定休日/日曜日

水炊き 長野



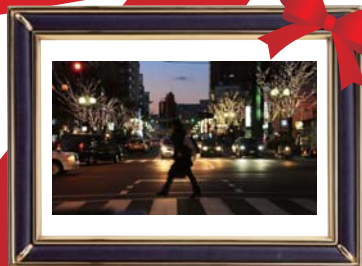
シメは、やっぱり雑炊!

格子戸のむこうには清潔に掃き清められた敷石が玄関へと続きます。名物の水炊きは 90 年以上続く老舗の味。天然飼料で育てたブランド鶏のスープは、コラーゲンたっぷり臭みもなく深い味わい。ぷりぷりの骨付き肉やつくねが鍋の中で踊りだしたら特製の酢醤油につけて頬張ります。熟練した仲居さんの手による締めの雑炊は天下一品。博多が誇る低カロリーでリーズナブルな美容食を対馬小路で味わってみませんか?

「Hakatan OL Club」とは?

○ 博多の良さや“博多の隠れ家的スポット”を探し、情報を発信することを通して、博多の街が、キラキラと輝く街になることを目的として活動している、博多駅周辺企業のOL による企画提言チーム。※メンバー募集中!

「冬のファンタジー・はかた' 10」
フォトコンテスト入賞作品決定!



優秀作品

佐賀市・P.N. 博多たろう様



優秀作品

福岡市・P.N. はかたっ子様

2009年12月5日~2010年1月18日に開催した冬期イルミネーション「冬のファンタジー・はかた' 10」。今年度初めて実施したフォトコンテストには、難しい夜景の撮影にも関わらず多数のご応募を頂きました。審査のポイントとしては、博多駅周辺のイメージアップに貢献するもの、博多駅周辺を知らない人が訪れたいもの、の2つとし、アクション部会での厳正な審査の結果、2点の優秀作品と6点の入選作品が選ばれました。協議会ホームページに作品を掲載していますので、ぜひご覧下さい! >><http://www.hakatan.jp>



「忘年懇親会」を開催しました!!

2009年12月15日(火)の臨時総会終了後、会員相互の懇親と忘年を目的とした「忘年懇親会」をハイアット・リージェンシー・福岡で開催しました。当日は約100名の会員の皆様に参加され、楽しい語らいの一時を過ごすと同時に、会員の皆様からご提供頂いた豪華賞品の数々が当たる大抽選会が行われ(賞品をご提供頂きました皆様、ありがとうございます!）、大いに盛り上がりました。

博多まちづくり推進協議会 主な活動スケジュール

3/12(金)	第5回 理事会	4月 通常総会 (予定)
3/18(木)	第163回 クリーンデー	
3月下旬	ディナー王(キング)発行予定	
4/15(木)	第164回 クリーンデー	

編集後記

協議会会報誌「はかたんだより」の第2号では、今年度の協議会活動の目玉のひとつ「博多まちづくりガイドライン」の特集を組んでみましたが、いかがだったでしょうか。駅からまちへ、まちから駅へ、歩いて楽しいまち。皆様とともに、そんな博多のまちにしていきたいですね。ガイドラインの全編は、協議会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。「はかたんだより」では、これからも色んな活動やトピックを発信していきたいと思えます。何かご意見やご希望がありましたら、遠慮なく事務局(JR九州:092-474-7243)までご連絡ください >><http://www.hakatan.jp>
◆編集会議メンバー一同(ウェルビー:古場、キリンビール:中井、西日本シティ銀行:山中、福岡地所:秋吉、環境緑化を考える会:木村・倉富、福岡アジア都市研究所:兼子、JR九州:松岡・白浜・長井・西島)